



2024年11月7日

各 位

会 社 名 株式会社エーアイ
代表者名 代表取締役社長 廣飯 伸一
(コード: 4388 東証グロース)
問合せ先 取締役経営戦略グループ統括 小川 遼
(TEL. 03-6801-8402)

合併により上場廃止となった株式会社フュートレックに係る決算開示のお知らせ

2024年10月1日付の合併により、2024年9月27日をもって上場廃止となった株式会社フュートレックに関する2025年3月期第2四半期(中間期)決算の内容を、添付のとおりお知らせいたします。

(添付)

- ・株式会社フュートレック 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月7日

上場会社名 株式会社 フュートレック 上場取引所 ー
コード番号 ー URL <https://www.fuetrek.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 明弘
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 秦 真一郎 TEL 06-4806-3112
半期報告書提出予定日 ー 配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	397	△21.9	△141	ー	△178	ー	△160	ー
2024年3月期中間期	509	△5.1	△178	ー	△195	ー	△194	ー

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △173百万円 (ー%) 2024年3月期中間期 △198百万円 (ー%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△17.10	ー
2024年3月期中間期	△20.75	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	1,709	1,561	81.6
2024年3月期	2,400	1,734	65.2

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 1,394百万円 2024年3月期 1,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2025年3月期	ー	0.00			
2025年3月期（予想）					

(注) 2024年10月1日付で、株式会社エーアイ（吸収合併存続会社）と当社（吸収合併消滅会社）は合併いたしました。当社株式は2024年9月27日をもって上場廃止となったため、2025年3月期の配当予想並びに業績予想は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名)、除外 1社 (社名) 株式会社メディアジャパン

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期中間期	9,504,200株	2024年3月期	9,504,200株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年3月期中間期	146,460株	2024年3月期	146,460株
-------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (中間期)

2025年3月期中間期	9,357,740株	2024年3月期中間期	9,357,740株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、急激な為替変動や人手不足を背景とする物価上昇や、国際情勢の不安定な中にありながらも、横ばいの状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、音声認識事業とデジタルマーケティング事業を中核事業とし、各事業のさらなる強化に努めました。

音声認識事業におきましては、他社との差別化を図るための音声認識技術の機能向上と声認証関連技術・異音検知技術の開発を行いつつ、音声認識技術とその周辺技術を含めたご提案による拡販活動を継続してまいりました。特に異音検知技術（製品名：「vGate Aispect™（アイスペクト）「音のAI検査）」では、2024年5月に検査可能な周波数を広帯域に拡張したバージョンアップ版をリリースする等、積極的な活動を展開いたしました。また、株式会社エアアイとの共同開発製品である、組み込み型音声対話フレームワーク「SLFrameWork（仮）」の開発も進めております。

デジタルマーケティング事業におきましては、引き続き新商品であるVisionary Cloudの追加機能開発を進めつつ、新規のご採用に向けた営業活動及び、サービスサポートやカスタマイズによる既存顧客へのきめ細かな顧客対応に努めました。2025年3月期、Visionary Cloudにつきましては拡販体制に移行し、追加機能開発に関する費用を従来よりも縮小することで、事業部全体で開発効率の向上と売上の最大化を図る方針です。

また、2024年10月1日の株式会社エアアイとの合併に向けて、通常の事業活動に加え、合併に向けた準備を進めました。

当社グループの当中間連結会計期間における経営成績としましては、売上高は397百万円（前年同期比21.9%減）、営業損失は141百万円（前年同期は営業損失178百万円）、経常損失は178百万円（前年同期は経常損失195百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失は160百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失194百万円）となりました。

当中間連結会計期間は、合併に際して事業遂行に不要な資産の整理を行ったこと等により、営業外損益、特別損益に多くの費用または損失、収益または利益が計上されております。主たる内容及び科目ごとの金額は以下のとおりであります。

受取保険金17百万円を計上しております。前連結会計年度に発生したインシデントによる損害に係る保険金のうち、前連結会計年度末時点で、受取りが確定しておらず、当中間連結会計期間に受取りが確定した金額であります。

為替差損14百万円を計上しております。当中間連結会計期間に発生した外貨建て買掛金の決済及び将来の外貨建て買掛金の決済に備えた為替予約から発生したものであります。

投資有価証券売却益17百万円を計上しております。保有していた上場株式及び非上場株式のうち売却による処分が可能な銘柄を売却いたしました。

関係会社株式売却益13百万円を計上しております。メディアジャパン株式会社株式の売却によるものであります。

事業所移転費用15百万円を計上しております。合併に伴い、東京事業所及び大阪本社の閉鎖及び縮小を行うために発生する原状回復費用の見積額を当中間連結会計期間の特別損失として計上しております。

前年同期と比較し、売上高は111百万円、営業損失は36百万円減少いたしました。

売上高の減少の事業ごとの内訳は音声認識事業15百万円、デジタルマーケティング事業27百万円、映像制作事業34百万円、システム開発事業27百万円です。

営業損失の主な変動要因は、音声認識事業の営業損失が25百万円、デジタルマーケティング事業の営業損失が28百万円減少し、システム開発事業の営業損失が14百万円増加したことによるものであります。

セグメントごとの当中間連結会計期間の経営成績につきましては、次のとおりであります。

セグメントの名称	第24期 中間連結会計期間 (百万円)	第25期 中間連結会計期間 (百万円)	増減 (百万円)
音声認識事業	124	108	△15
デジタルマーケティング事業	270	243	△27
映像制作事業	61	26	△34
システム開発事業	45	18	△27
報告セグメント計	502	397	△104
その他	6	—	△6
連結財務諸表計上額	509	397	△111

①音声認識事業

売上高は108百万円（前年同期比12.6%減）、営業損失は65百万円（前年同期は営業損失90百万円）となりました。

前中間連結会計期間と比較して売上高が減少しているのは、主に音声収録に関する受託業務に係る売上高が減少したことによるものです。当該受託業務の減少に伴って外注費が減少したことに加え、販売管理費の節減等により、営業損失は減少いたしました。

②デジタルマーケティング事業

売上高は243百万円（前年同期比10.0%減）、営業損失は49百万円（前年同期は営業損失78百万円）となりました。

前中間連結会計期間と比較し、主に新規案件の受注に伴う受託業務（初期導入費用）に係る売上高が減少したことによるものであります。

③映像制作事業

売上高は26百万円（前年同期比56.2%減）、営業損失は10百万円（前年同期は営業損失14百万円）となりました。

なお、当中間連結会計期間において映像制作事業を営んでおりました株式会社メディアジャパン株式の全部を売却しております。このため、株式会社メディアジャパンを連結の範囲から除外しております。

④システム開発事業

売上高は18百万円（前年同期比60.4%減）、営業損失は14百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産（負債純資産合計）は、前連結会計年度末に比べ691百万円減少し1,709百万円となりました。当中間連結会計期間において、借入金の返済などにより有利子負債残高が401百万円減少しており、総資産（負債純資産合計）が大きく減少いたしました。

総資産の内訳は、流動資産が1,674百万円（前連結会計年度末比595百万円減）、固定資産が34百万円（同95百万円減）であります。流動資産の主な変動要因は、現金及び預金の減少345百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少125百万円、有価証券の減少100百万円によるものであり、固定資産の主な変動要因は、投資有価証券の減少72百万円であります。

負債の部では、流動負債が138百万円（同516百万円減）、固定負債が9百万円（同1百万円減）であります。流動負債の主な変動要因は、買掛金の減少97百万円、短期借入金の減少400百万円、流動負債のその他の減少48百万円であり、固定負債の主な変動要因は、長期借入金の減少1百万円によるものであります。

純資産の部では、利益剰余金の減少160百万円等により1,561百万円（同173百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月1日付で、株式会社エーアイ（吸収合併存続会社）と当社（吸収合併消滅会社）は合併いたしました。当社株式は2024年9月27日をもって上場廃止となったため、2025年3月期の配当予想並びに業績予想は記載しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,886,451	1,541,154
受取手形、売掛金及び契約資産	237,856	112,382
有価証券	100,000	-
その他	47,374	21,912
貸倒引当金	△1,303	△696
流動資産合計	2,270,379	1,674,752
固定資産		
有形固定資産	1,539	1,127
無形固定資産		
ソフトウェア	14,245	13,728
ソフトウェア仮勘定	4,981	-
無形固定資産合計	19,227	13,728
投資その他の資産		
投資有価証券	72,371	-
繰延税金資産	2,607	5,672
その他	34,049	13,842
投資その他の資産合計	109,028	19,514
固定資産合計	129,795	34,370
資産合計	2,400,175	1,709,123
負債の部		
流動負債		
買掛金	118,358	20,376
短期借入金	400,000	-
1年内返済予定の長期借入金	2,600	2,400
前受金	11,603	54,384
未払法人税等	10,910	2,045
賞与引当金	6,450	3,618
受注損失引当金	955	578
その他	103,380	54,637
流動負債合計	654,259	138,041
固定負債		
長期借入金	11,000	9,800
固定負債合計	11,000	9,800
負債合計	665,259	147,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,554,194	1,554,194
利益剰余金	△29,192	△189,196
自己株式	△70,014	△70,014
株主資本合計	1,554,986	1,394,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,520	-
その他の包括利益累計額合計	9,520	-
非支配株主持分	170,408	166,299
純資産合計	1,734,916	1,561,281
負債純資産合計	2,400,175	1,709,123

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	509,236	397,459
売上原価	385,603	281,260
売上総利益	123,633	116,199
販売費及び一般管理費	302,094	258,075
営業損失(△)	△178,460	△141,876
営業外収益		
受取利息	29	131
受取配当金	683	640
投資事業組合運用益	532	—
為替差益	12,519	—
受取保険金	—	17,719
その他	262	111
営業外収益合計	14,027	18,602
営業外費用		
支払利息	2,353	1,053
支払手数料	29,010	34,565
為替差損	—	14,251
その他	—	5,799
営業外費用合計	31,364	55,669
経常損失(△)	△195,797	△178,943
特別利益		
投資有価証券売却益	—	17,600
関係会社株式売却益	—	13,896
特別利益合計	—	31,496
特別損失		
固定資産除却損	—	898
減損損失	6,093	826
事業所移転費用	—	15,870
特別損失合計	6,093	17,596
税金等調整前中間純損失(△)	△201,890	△165,042
法人税、住民税及び事業税	3,789	2,135
法人税等調整額	△2,954	△3,064
法人税等合計	834	△929
中間純損失(△)	△202,725	△164,113
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△8,539	△4,109
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△194,185	△160,004

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△202,725	△164,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,408	△9,520
その他の包括利益合計	4,408	△9,520
中間包括利益	△198,316	△173,634
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△189,776	△169,524
非支配株主に係る中間包括利益	△8,539	△4,109

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当中間連結会計期間に係る中間連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、当中間連結会計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	7,967千円	6,303千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自2023年4月1日至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額 （注）
	音声認識 事業	デジタル マーケティング 事業	映像制作 事業	システム 開発事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	124,443	270,882	61,420	45,673	502,420	6,816	509,236	—	509,236
セグメント間の 内部売上高又は振替 高	—	300	—	—	300	—	300	△300	—
計	124,443	271,182	61,420	45,673	502,720	6,816	509,536	△300	509,236
セグメント利益又は損 失（△）	△90,896	△78,219	△14,766	△102	△183,984	5,523	△178,460	—	△178,460

（注）セグメント利益又は損失の合計額は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「音声認識事業」セグメントにおいて、減損損失6,093千円を計上しております。

II 当中間連結会計期間（自2024年4月1日至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額 （注）
	音声認識 事業	デジタル マーケティング 事業	映像制作 事業	システム 開発事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	108,731	243,706	26,919	18,101	397,459	—	397,459	—	397,459
セグメント間の 内部売上高又は振替 高	—	345	—	—	345	—	345	△345	—
計	108,731	244,051	26,919	18,101	397,804	—	397,804	△345	397,459
セグメント損失（△）	△65,585	△49,522	△10,951	△14,141	△140,200	△1,675	△141,876	—	△141,876

（注）セグメント損失の合計額は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。